

会 議 録（要点記録）

会 議 名	小金井市緑センター事業運営委託に係る説明会
事 務 局	公民館及び図書館
開 催 日 時	令和５年５月２８日（日）午前１０時００分から午前１１時３０分
開 催 場 所	公民館緑分館 学習室
出 席 者	３４名
事 務 局 員	梅原生涯学習部長 内田図書館長 吉田図書館庶務係長 香川図書館奉仕係長 若藤図書館緑分室長 櫻庭主事 鈴木公民館長 渡邊公民館庶務係長 落合公民館事業係長 山崎公民館事業係主任 田中公民館事業係主事
会 議 次 第	１ 開会 ２ 開会の挨拶 ３ 出席職員の紹介 ４ 小金井市緑センター事業運営委託に係る説明 ５ 質疑応答 ６ 閉会の挨拶 ７ 閉会 配付資料 資料１ 「小金井市緑センター事業運営委託に係る説明会」概要説明用資料

会 議 結 果

次第 1 開会

【鈴木公民館長】

- ・ これより緑センターの委託に向けた市民説明会を始める。

次第 2 開会の挨拶

(梅原生涯学習部長より開会の挨拶)

次第 3 出席職員の紹介

(出席職員による自己紹介)

次第 4 小金井市緑センター事業運営委託に係る説明

【内田図書館長】

- ・ これより緑センター委託事業の概要説明を行う。

(内田図書館長及び鈴木公民館長より配布資料 1 に沿って概要説明)

次第 5 質疑応答

【市民 A】

- ・ 質問に対する回答に納得がいけない場合、再質問は可能か。
→ 基本的には一問一答でお願いしたいが、再質問も可能。(鈴木公民館長)

【市民 A】

- ・ その場で質問に答えられない場合はどのような対応をしてもらえるか。
→ 後日回答をホームページに掲載したい。(鈴木公民館長)

【市民 A】

- ・ 資料 P 7 に「コスト抑制」と「質の向上」とあるが、その 2 点を両立できると市が考えた根拠を教えてほしい。例えば浴恩館公園の管理などは非常に手間やコストがかかるので、私が事業者の立場ならそこにコストは掛けないが、それは市民にとっての「質の向上」にはならないと思うし、両立できているとは言えないのではないか。
→ 浴恩館公園について環境政策課が管理するもので、今回の委託とは関係がない。野外調理場とテニスコートに関しては公民館が管理しているので、併せて事業者に委託されることになる。(鈴木公民館長)
→ 「コスト抑制」に関しては、現状掛かっている人件費を含めた経費と、委託に掛かる費用との差額分で財政効果が見込めるという意味。また、委託化することで社会教育主事や社会教育士などといった専門的な資格を持つ職員が安定的に配置されることになるので、それが「質の向上」につながると考えている。(鈴木公民館長)

【市民A】

- ・ 委託をしたからといって、専門的なスキルを持った職員が採用されるとは限らないのではないかと
→ 受託者選定のプロポーザルを実施するに当たり、社会教育主事等の有資格者を配置すること等を条件とする予定。(鈴木公民館長)

【市民A】

- ・ 資料P9に「隣接する小中学校との連携」とあるが、現状小学校では教員が個別に文化財センターなどとやりとりし、学校に講師として来てもらうなどの形をとっている。民間委託によりこの形がどう変わっていくのか、どうプラスになるのかが見えない。
→ 今までも緑中学校及び緑小学校との連携は実施しているが、委託後もより一層充実させていきたいと考えている。(若藤図書館緑分室長)
→ 現状実施しているものの質を落とさず、今後も発展的にやっていきたい。(内田図書館長)

【市民A】

- ・ 資料P13「緑分室の役割」の「地域に根差した新しいチャレンジ」という言葉が抽象的。これは市民が望んでいるものなのか。市民が望んだものがここに入る仕組みが構築されているのか、全然わからない。また「市内団体との連携事業」とあるが、それはもうやっている。「子どもたちが楽しめるイベント」も市民がやっている。それは別にわざわざ書く必要はないのではないかと。
→ 各種連携事業やイベント等は現状でも実施しているが、民間委託によって、これまで培ってきたものに新たな視点が加わることを期待したい。(内田図書館長)

【市民A】

- ・ P12に委託の効果としてメリットがたくさん挙げられているが、デメリットもきちんと説明してもらいたい。
→ 慣れ親しんだ体制や職員が変わってしまうのがデメリットだと思う。不安に思われる方もいらっしゃると思うので、委託先の事業者と利用者が良い関係を築いていけるよう市としても丁寧な引継ぎ等を行っていきたい。(鈴木公民館長)

【市民B】

- ・ 委託後は資格職の方が配置されるから大丈夫、とは限らない。新しい事業者の方にこれまでの市民活動の蓄積を大切にしてもらえよう、市としても考えてもらいたい。
→ 委託先の事業者が市民の皆様とよりよい関係を構築できるよう、行政が責任を持ってフォローしていく。(鈴木公民館長)

【市民C】

- ・ 公民館東分館と公民館貫井北分館はすでに委託されている。どう評価しているか。また、直営館の評価はないのか。

- 令和3年度に図書館基本計画を作成するに当たって実施した利用者アンケートにおける満足度に関する項目で、図書館東分室については63%、図書館貫井北分室については90%の利用者から満足していただいているという結果が出た。また図書館貫井北分室に関しては、実施事業がNHKの番組に取り上げられるなど、こうした点からも一定以上の評価をいただけていると認識している。(内田図書館長)
- 公民館運営審議会においても、公民館東分館及び貫井北分館については、非常に高い評価を頂いている。受託先の事業者に対する利用者からの苦情等も特にない。直営館の事業評価がないという点については、公民館としても課題として捉えている。今後、どのような形で評価を行っていきけるかが課題。他の自治体等も参考にしながら評価軸を考えていきたい。(渡邊公民館庶務係長)
- 文化や教育に関しては、評価するのが非常に難しい。どういう評価軸が必要かを今後検討していく必要がある。直営館の事業評価自体は実施する方向で考えている。(鈴木公民館長)

【市民C】

- ・ 継続的な取り組みの発展に当たっては、実際に業務を担当されている会計年度職員の力が大きい。東センター及び貫井北センターの委託の際には、何人かの職員の方が委託先に残ってくれたように記憶している。そうした点を考慮していただかないと、利用する側としては非常に不安。
- 特定の職員の人事に関して、この場で申し上げることは適当ではない。利用者の方との関係性を維持できるような形で事業者への引継ぎを進めていきたい。(鈴木公民館長)

【市民D】

- ・ いままでの運営に不満はない。市は委託化の理由として、主に「コストの削減」を挙げているが、専門的な職員を雇うことでむしろコストは高くなるのではないか。それについては検証しているのか。また、どんなクレーム等があって委託化をすることになったのか、経緯をはっきりさせてほしい。
- 現在の緑センター運営に掛かっている人件費等を含めた事業費と、事業の受託を希望する業者から提出してもらった見積もりとの差額は約500万円程度である。(渡邊公民館庶務係長)
- 緑センター運営に対する苦情があったから委託をするというわけではない。委託化を通じて財政効果を生み出しつつ、専門性のある人材配置を行っていきたい。(鈴木公民館長)

【市民D】

- ・ 委託後に、事業者側の経営状態の悪化等の理由で、いままで無料でやっていたものを有料化するなどということはあるのか。そうならないよう、市が舵取りをしてくれるのか。
- 事業を譲渡するわけではなく、あくまでも仕様書に基づいて仕事をしてもらうことになる。事業者の都合で有料化をするということはない。(鈴木公民館長)

【市民D】

- ・ 現状でも運営は上手くいっているのだから、コスト等の削減についてはもっと市が努力するべきではないのか。委託をするから大丈夫というのは無責任に思う。
→ 委託後の運営に関しても市が責任を持って担っていく。(鈴木公民館長)

【市民E】

- ・ 民間委託には肯定的。市がやるよりも民間企業がやるほうがよいものになると思うが、プロポーザルでは良くても実際にやってみるとダメだったということもあり得る。委託後のチェック体制について教えてもらいたい。
→ 定期的な打ち合わせをして、事業の実施状況を確認する。また、事業の内容については、事業計画を公民館運営審議会で確認し、了承いただいた上で実施することになっている。併せて結果報告も行っている。(鈴木公民館長)
→ 市で図書館評価を行うための準備を進めている。実施した評価は図書館協議会の中で確認していく。また、週に1回、委託館を含めた全館で打ち合わせを行っており、そうした機会を活用してしっかり管理していく。(内田図書館長)

【市民F】

- ・ 野外調理場について、「再開に向けた方向性を適切に示す」とあるが、今後再開してもらえるのか。委託後の安全管理体制はどうなるのか。今後のスケジュールは。
→ 安全性を確保し、周辺環境への影響を最小限に留めるために必要な措置を講じていく。安全に使用してもらえるよう市の方で課題を整理し、同じ場所で再開できるよう進めていく。スケジュールとしてこの場でお示しできるものはないが、4月までに整理していく。(鈴木公民館長)

【市民F】

- ・ ぜひ住民が納得できる形でスタートさせてほしい。

【市民G】

- ・ 緑センター1階と2階の畳敷きの部屋を普段利用しているが、9月に畳を変えてもらえるということで大変ありがたい。だが、高齢で畳に直接座るのが大変なため、普段は折り畳みイスを使用しており、せっかく畳を変えてもらってもすぐにすり減ってしまうのではないかと心配している。今後、1階の部屋だけでも畳から床に変更してもらえないか。
→ 1階の「高齢者いこいの部屋」については、介護福祉課高齢担当の方で利用者と話し合いを持ち、畳の張替えについては納得してもらっていると聞いている。床への変更という要望があったことは高齢担当に伝えたい。(鈴木公民館長)

【市民G】

- ・ 普段使用している折り畳みイスのネジが取れてしまっているものがある。ホワイトボードの足も壊れており、利用者の方で簡易的に修理して使っている状況。すぐに直してもらえないか。
→ できる範囲で修繕等、対応したい。(鈴木公民館長)

【市民G】

- ・ 委託化により削減できた経費を施設の修繕に充ててもらえないか。
→ そうした意見があったことは受け止めたい。(鈴木公民館長)

【市民A】

- ・ P 1 3 「地域に根差した新しいチャレンジ」とあるが、現状で子どもの声を聞き入れ、反映させる体制はあるか。今後、子どもが発言をする場が保障されるのか。
→ 利用者の声を記入してもらう用紙を図書館に設置しているほか、年に1回、図書館座談会というものを開催している。座談会については委託後も図書館本館で実施していく予定。週に一度の打ち合わせや、日報でも各館に寄せられた利用者からの意見は報告してもらっている。(内田図書館長)
→ 子どもに限定して意見を聞く会というのは開催していない。(鈴木公民館長)

【市民A】

- ・ 直営館の評価に関して、「どのような形で評価を行えるか考えたい」という旨の回答があったが、すでに東センターや貫井北センターの評価に関するアンケート調査を実施しているならば、同じ質問紙を使ってアンケート調査をすればよいのではないか。比較をするというのであれば、全く同じ項目で調査をしないと意味がないと思う。
→ 直営館・委託館含め、統一の基準で評価しなければならないというのはおっしゃるとおり。「評価軸を設定するのが難しい」という発言については、例えば講座を参加人数などだけで評価するのは難しいという意味。講座の内容について、先進性があるとか、参加人数が少ないけど面白い内容であるとか、そういったものを評価する軸を考えるのが難しいという意味だと受け取っていただきたい。(鈴木公民館長)

【市民A】

- ・ 東センターや貫井北センターについてのアンケート結果を委託における指標として提示するのなら、比較対象として直営館の評価も提示するべきではないか。全く同じ質問紙を使用すればすぐにアンケート調査ができるのに、なぜやらないのか。
→ 公民館に関しては、東センターと貫井北センターについては委託の仕様書に基づく評価となっている。今後は直営館・委託館を含めて総合的に評価できるような項目を考えていく必要があるという趣旨。(渡邊公民館庶務係長)
→ 令和3年度に図書館基本計画を作成するに当たって実施した利用者アンケートにおける満足度に関する項目で、図書館本館は63%、図書館緑分室は84%の利用者から満足していただいているという結果が出ている。(内田図書館長)

【市民A】

- ・ 小金井市は委託後のチェック体制が甘い。保育園でも民間委託した受託者の不正受給が発覚したということがあったが、それはチェック体制の甘さが原因だと思う。また、先ほどから委託後も市が責任を持つというが、例えば受託者が赤字になり撤退となった場合、具体的に市はどのように責任をとるつもりなのか。
→ そういった事態になることが無いよう、市として適切な業者選定を行っていく。

(鈴木公民館長)

【市民H】

- ・ 緑センターについても、東センターや貫井北センターを受託している「NPO法人市民の図書館・公民館こがねい」に委託するのか。このNPO法人はどのような組織なのか。
 - 同NPO法人に委託することが決まっているわけではない。プロポーザルを実施し、手を挙げた業者の提案内容を審査した上で市が業者を決定する。(鈴木公民館長)
 - 同NPO法人は、平成26年度の貫井北センター建設の際に、センターの運営を民間に委託するという方針の下で、市が支援して設立した法人である。当時は、一者随意契約という形式で同法人に業務を委託し、翌年度には同様の形式で東センター運営業務を同法人に委託している。その後、令和元年度には両センターの業務委託に関する公募型プロポーザルを実施し、再度同法人に業務を委託することとなった。今回の緑センター委託に関しても、公募型プロポーザルを実施し、広く事業者から募集を行った上で、適切な業者を選定したい。(渡邊公民館庶務係長)

【市民H】

- ・ 夜間の管理業務等を委託しているシルバー人材センターについてはどうなるのか。再委託されるのか。
 - 夜間と休日に関しては、これまでどおりシルバー人材センターに管理業務をお願いする予定である。(渡邊公民館庶務係長)

【市民B】

- ・ 現在、陶芸教室等で緑センターの陶芸窯を利用している。野外調理場も併せて、設備の利用方法や修繕に関して、市民と受託業者と市の三者で委託開始前に話し合える場を作ってほしい。

次第6 閉会の挨拶

【鈴木公民館長】

- ・ 以上で緑センターの委託に向けた市民説明会を終了する。

—— 了 ——